

登録コード	E4132900	開講年度	2026			
授業科目	知覚・認知心理学				担当教員	島田 英昭
英文授業名	Perceptual and Cognitive Psychology				副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・4時限	対象学生
講義室	教育図書2階講義室	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンベンション 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	知覚・認知心理学に関する基礎的な知識を得ることで、教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を身につける。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	知覚・認知心理学に関する基礎的な知識を得ることで、教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能を身につける。
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース、ストラテジー・デザイン人材養成コース、ライフクリエイター養成コース					
(4)授業の概要	講義と演習により構成する。 ●講義では、知覚・認知・教育心理学に関する基礎的なトピックを解説する。知覚・認知・教育心理学により解明された事実を、その根拠である実験・調査の方法までさかのぼって学び、理論の一般化可能性や限界を批判的に吟味する。原則としてオンライン・オンデマンドで行う。 ●演習では、講義で取り上げたトピックを中心にグループワークを行う。自由な発想で、理論と実践を結びつけ、理解を深める。原則として対面で行う。					
(5)授業計画	第1回：ガイダンス、認知心理学とは何か（教室講義） 第2回：記憶（オンライン・オンデマンド講義）【遠隔等】 第3回：記憶（教室演習） 第4回：知覚と注意（オンライン・オンデマンド講義）【遠隔等】 第5回：知覚と注意（教室演習） 第6回：知識（オンライン・オンデマンド講義）【遠隔等】 第7回：知識（教室演習） 第8回：推論（オンライン・オンデマンド講義）【遠隔等】 第9回：推論（教室演習） 第10回：言語（オンライン・オンデマンド講義）【遠隔等】 第11回：言語（教室演習） 第12回：社会的認知（オンライン・オンデマンド講義）【遠隔等】 第13回：社会的認知（教室演習） 第14回：ケーススタディ（教室演習） ※授業の進め方についての注意事項 ○受講者の関心や時事的な背景に応じて内容を変更することがある。 ○試験はオンライン・オンデマンドで行う。 ○教育実習等の教育学部必修に位置づけられる科目の履修により教室演習を欠席する場合には、eALPSを通して申請を受ける。原則として対応するオンライン・オンデマンド講義および教室演習の資料閲覧と自習により出席と認めるが、追加の課題提出を求めることがある。なお、オンライン・オンデマンド講義分については教育実習等の教育学部必修に位置づけられる科目の履修による欠席を考慮しない。オンライン・オンデマンド形式であるため、各自でスケジュール調整を行い受講時間を確保する。 ○授業アンケートを実施する。 ※授業に関するお願い ○授業で得られた学習データを、教育、研究、広報の目的で利用することがあります。データは匿名で扱います。学術論文等、外部で発表することがあります。了承できない場合には個別に連絡をお願いします。了承しないことによる成績への影響は一切ありません。 ○教育、研究、広報の目的で、ビデオ、写真撮影を行うことがあります。ビデオ、写真を外部に公表する可能性があります。了承できない場合には個別に連絡をお願いします。了承しないことによる成績への影響は一切ありません。 ○心理学関係の実験・調査への協力をお願いすることがあります。また、実験・調査に参加し結果を知ることの教育効果に対し、コースクレジットとして成績評価に参入することがあります。詳細は依頼時に説明します。依頼は拒否することが可能であり、参加しないことにより成績評価が不利になることがないように運用します。					
(6)成績評価の方法	●以下を総合して判定する。 試験（40%）、議論への参加（20%）、振り返り（20%）、宿題（20%） ※評価割合は若干の調整を行うことがある。 ※知覚・認知心理学に関する基礎的な知識を評価する。 ●得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	【卓越している】知覚・認知心理学に関する基礎的な知識について、極めて高い水準にある。 【かなり上にある】知覚・認知心理学に関する基礎的な知識について、非常に高い水準にある。					

(7)成績評価の基準	【やや上にある】知覚・認知心理学に関する基礎的な知識について、高い水準にある。 【その水準にある】知覚・認知心理学に関する基礎的な知識について、一定水準にある。
(8)事前事後学習の内容	●講義・演習について、振り返りを行う。 ●講義に関連する内容について、書籍やネットなどで復習し、理解を深める。 ●演習に関連する内容について、事前に書籍やネットなどで事前に理解を深め、自分の意見を整理しておく。 ●この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。
(9)履修上の注意	●現代教育コース全ユニット、心理支援コースの学生を主な対象とする。それ以外の学生も十分に理解できる内容であり、受講を歓迎する。ただし、希望者多数の場合は対象学生を優先し、受講制限することがある。 ●eALPSを常時利用する。 ●オンライン・オンデマンド講義は、対応する教室演習の時間までに受講する。授業時間にかかわらず、自由な時間に受講してよい。
(10)質問、相談への対応及び連絡先	原則としてメールで対応する。連絡先はeALPSを参照する。
【教科書】	指定しない。資料を配付する。
【参考文献】	内容に応じて随時紹介する。